



2023年6月1日 発売予定

定年後の学問の愉しみ

カナナ社 編

元・大学教員ら25人の学者人生と、 それぞれの「その後の学び」

◆学問に定年はない。いまだからこそ、学べることもある!

現役時のテーマを追究し続ける人、新たな関心を見つけた人、自由な時間を愉しむ人……
幅広い分野で活躍した研究者たちが、それぞれの来し方と定年後の現在の生活、
そして未来に残したいものを語る。

◇楽しみだけではない、苦しいだけでもない。

「学問とともにある人生」のさまざまな形を個性豊かに振り返るエッセイ集。

◀目次▶ (一部紹介)

『心の庭のガーデニング』 山田英美 (山梨大学名誉教授、身延山大学名誉教授)

『長生きも研究のうち』 浜野研三 (元 関西学院大学教授)

『学問など、した覚えなし』 横須賀 薫 (元 宮城教育大学学長)

『民間人校長から中国で日本文学を教える』 横山芳春 (福健師範大学協和学院教師)

『運命のいたずらと時代の波に導かれしわが学問』 小林登志生 (メディア教育開発センター名誉教授、総合研究大学院大学院名誉教

『人間になることを問い続けて』 吉村文男 (京都教育大学名誉教授、奈良学園大学名誉教授)

『研究者を取り巻く時代とその後の学び』 弘末雅士 (立教大学名誉教授)

『大自然の中で「元気」を研究する』 川村協平 (山梨大学名誉教授)

『ひとりのイギリス人作家を追い続ける「学び」』 倉田雅美 (東洋大学名誉教授)

『一日の大半は午前中』 橋本和孝 (関東学院大学名誉教授)

『研究と教育の両立、そして……』 松原好次 (元 電気通信大学教授)

『学問への興味は川の流れの如くにずっと続いていくもの』 東山安子 (元 明海大学教授、INVC暮らしとアートの研究所代表)

……他、全25篇



四六判・並製/368ページ

定価：2500円+税

編者：カナナ社(代表：石橋幸子)

1999年出版社「春風社」を友人二人と創業。その後独立して2021年出版の窓口「カナナ社」を立ち上げる。出版コーディネーター歴25年。

<https://canna-sya.com/>

青灯社 営業 (担当・辻)

FAX: 03-5368-6943

TEL 03-5368-6550

取次：トーハン、日版、楽天BN、八木書店、JRC、新日本図書

eメール info@seitosh-p.co.jp

(書店印)

カナナ社 編

定年後の学問の愉しみ

冊

I S B N 978-4-86228-125-8 C0037

定価 2500円+税